



かたの 寺社巡り

ノルディックで
指定文化財を歩く

- 10 -



市内の指定文化財を巡る「ノルディックウォーク」を3月に開催します。そのコースで見ることができる文化財について、連載しています。

今月は、八葉蓮華寺と国指定重要文化財の阿弥陀如来立像を紹介します。

問い合わせ 社会教育課文化財係 (TEL 893・8111)

八葉蓮華寺

八葉蓮華寺は、傍示の山里にあります。山号を氷室山といい、融通念仏宗の寺院です。付近で出土した瓦から、創建は平安時代後期以前と推定されます。

明治時代に編集された「氷室山蓮華寺略史」の伝承によると、天長3年(826年)の干ばつの際に、弘法大師空海が傍示嶽に登って雨乞いを成功させました。これを天皇が称賛し、八葉蓮華寺の建立となったこと、その後廢寺となったものの、元亨元年(1321年)に法明上人が交野に來た際、寺の旧跡に小堂を建てさせ、八葉蓮華寺の名で融通念仏の道場としたことなどが記されています。

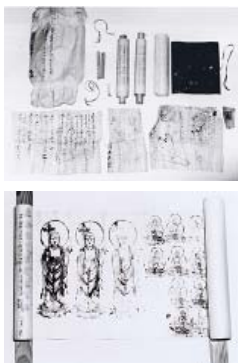
奈良県の薬師寺や東大寺が所蔵する「大般若経」の奥書(平安鎌倉時代)などには、蓮華寺や河州交野郡傍示村蓮華寺の記述があることから、古くからこの寺の存在が確認できます。



国指定重要文化財 木造阿弥陀如来立像

阿弥陀如来立像(上写真)は、鎌倉時代の仏師である快慶の作として有名です。建久3年(1192年)〜建仁3年(1203年)の間の作と考えられ、安阿弥様と呼ばれる形式で、以後、これを模倣した像が多く作られるようになりました。

来迎印を結び、左足を少し前に踏み出した姿は、亡くなった者に歩み寄ろうとする様子を表現しています。また、顔立ちなどを見ると、特に奈良県磯城郡田原本町の安養寺や、兵庫県加西市北条町小谷の阿弥陀堂にある仏像などと似ています。像内胸部には、阿弥陀経や書状などが納入されていました。その包み紙には、快慶のスケッチも描かれており、貴重な史料といえます。



阿弥陀堂



安養寺



八葉蓮華寺

豆知識

快慶と阿弥陀仏信仰

快慶は阿弥陀仏信仰者で、法然など浄土教の僧侶とも親交が深く、そのため、仏師として「巧匠こうしやう阿弥陀仏」とも称しています。阿弥陀如来立像内に「阿弥陀阿弥陀仏」、左足ほぞの外側にも「巧匠こうしやう阿弥陀仏」と快慶が作ったことを示す墨書銘があります。阿弥陀如来立像を多数制作した背景には、熱心な信仰心があったものと思われます。



ほぞに記された快慶銘

